

# 平成28年度 事業計画書

## 三溪園の事業の基本理念

三溪園は、明治39(1906)年に実業家・原三溪が、自然や文化財は共有財であるという考えから、自邸を広く一般公開したことに始まります。三溪が庭園、そして蒐集した歴史的建造物や美術品を公開したことにより、結果として三溪園は単に行楽の地にとどまらず、日本文化の保護や育成・啓蒙、そして新たな文化の醸成を生むことにもつながりました。本財団では、三溪の遺志、そして三溪園が果たしたこうした役割を受け継ぎ、次のような定款を掲げ、三溪園の管理・運営を行っています。

「国民共有の文化遺産である重要文化財建造物等及び名勝庭園の保存・活用を通して、歴史及び文化の継承とその発展を図り、潤いある地域社会づくりに寄与するとともに、日本の文化を世界に発信する」

平成28年度も引き続きこれに基づき、また横浜市との新たな協約により設定した目標値(※)の達成をめざし、次のとおり事業を行います。

※目標値 下表のとおり。

協約事項	27年度	28年度	達成目標値(29年度)
① 入園者数の増	① 438,900人	① 460,845人	① 485,000人
② 外国人入園者数の増	② 31,020人 (※見込)	② 34,122人 (※見込)	② 38,000人
事業収入(寄付金を含む)の増	269,000千円	279,000千円	290,000千円
庭園ボランティアの活躍の場の提供及び機会の拡大	延べ690人	延べ720人	延べ750人

## 平成28年度の主な事業

### 公益目的事業

#### 1 庭園および歴史的建造物の公開と、それを活用した日本の伝統・文化の紹介

園内に点在する17棟の歴史的建造物と四季折々に移り変わる自然が調和した庭園を常時公開するとともに、来園の動機作り、また施設自体や日本の伝統文化や季節感に触れ、親しんでいただくことを目的として、年間をとおして様々な催しを行います。

##### (1) 園内の季節の花や風物を楽しむ催し

観桜の夕べ	3月26日(土)～4月3日(日)	
蛍の夕べ	5月28日(土)～6月5日(日)	
早朝観蓮会	7月16日(土)～8月7日(日)の毎土曜・日曜・祝日	
観月会	9月15日(木)～19日(月・祝)	
観梅会	平成29年2月11日(土)～3月5日(日)	

##### (2) 日本の伝統園芸文化の紹介展示

さくらそう展	4月14日(木)～20日(水)	共催：横浜さくらそう会
さつき盆栽展	5月22日(日)～6月5日(日)	共催：横浜三溪園皐月会
花しょうぶ展	6月14日(火)～19日(日)	共催：日本花菖蒲協会 <b>新企画</b>
朝顔展	8月5日(金)～9日(火)	共催：横浜朝顔会
菊花展	10月26日(水)～11月23日(水・祝)	共催：横浜菊花会、小菊盆栽芸術協会会長生会
盆栽展	平成29年1月8日(日)～22日(日)	共催：横浜三溪園皐月会

### (3) 歴史的建造物の公開

新緑の古建築公開 — 数寄屋建築 江戸と近代 臨春閣(重要文化財)、白雲邸(横浜市指定有形文化財) 4月29日(金・祝)～5月5日(木・祝)

三溪園で楽しむ夏休み — 横浜市指定有形文化財 鶴翔閣公開

8月11日(木・祝)～16日(火)

紅葉の古建築公開 — 2つの秋を楽しむ 聴秋閣(重要文化財)、横笛庵

11月19日(土)～12月11日(日)

三溪園で過ごすお正月 — 鶴翔閣内部特別公開

平成29年1月元日(日・祝)～3日(火)

### (4) その他

北欧美術展

— CONTEMPORARY ART FROM SWEDEN II 5月12日(木)～24日(火)

フォトコンテスト 9月上旬審査・10月1日(土)表彰式

俳句展(協力:横浜俳話会) 平成29年3月16日(木)～5月下旬

## 2 庭園および歴史的建造物の維持・管理

庭園および園内に点在する17棟の歴史的建造物は、三溪園の施設でも最も根幹となる要素であり、永久的な保存を前提に継続的な管理を要します。これにあたっては、庭園・建築・歴史・植生・地盤工学の各分野の有識者で構成される名勝三溪園整備委員会の指導と助言により、修復・整備の年次計画を策定しており、今年度もこれに基づき進めます。

### (1) 植栽の整備

植栽整備調査設計に基づき、名勝三溪園整備委員会の指導・助言を受けながら、園内の植栽整備を行います。

### (2) 大池中之島木橋B整備工事

経年劣化が進行している大池木橋Bを古写真に倣い修理します。

### (3) 大池修景整備工事調査設計

正門藤棚付近からの大池と三重塔の眺望が損なわれ、アオコの懸念が高い大池修景整備のための調査設計を行います。

### (4) 聴秋閣遊歩道木橋設計

老朽による腐朽が進行している聴秋閣遊歩道木橋修理工事のための調査設計を行います。

### (5) 名勝整備事業の中間報告書の作成

平成20年度から国庫補助等により実施してきた、名勝三溪園保存修理事業の中間報告書を、3ヵ年計画でまとめます(本年は3ヵ年目)。

### (6) 庭園の日常的環境整備

来園者が気持ちよく観覧できるよう、苑路の不陸・段差整備、花木の育成・剪定、庭園諸施設の更新・整備、構築物の小破修繕等日常的な環境整備を行います。

### (7) 横浜市指定有形文化財白雲邸の修理

葺き替え後30年近くを経過し、摩耗、損傷著しい白雲邸の屋根檜皮葺きを全部葺き替えます。

### (8) 耐震化対策を加えた文化財建造物保存修理計画の策定

昨年度策定した文化財建造物修理計画と同じく、園内地盤調査のデータをもとに、今後の整備計画(保存修理と耐震化を合わせた実施時期、事業費の検討)を行います。

### (9) 文化財防火設備の改修

園内に設置する消防用設備のうち一部の自動火災報知設備など、破損、機能不良のものを改修整備します。

#### (10) 日常の維持管理

歴史的建造物を良好に維持するため、日常的にメンテナンスを行います。特に桧皮葺、茅葺など植物性素材の屋根をもつ建物については、専門業者への委託による軒樋・屋根の定期的清掃が必要となります。障子・襖の張替え等も適宜行います。

### 3 原三溪および三溪園に関する美術品、資料等の収集、保存および活用

歴史的建造物付属の障壁画など三溪園ゆかりの美術品や資料を収蔵・展示する三溪記念館は、園の歴史や価値を紹介し、発信する重要な拠点の一つです。また、旧矢筈原家住宅でも、かつての飛騨地方の生活文化を伝える貴重な民俗資料群を有しています。いずれも良好な状況で保存するとともに、公開・活用します。

#### (1) 美術品等の収集

展示活動の充実を図るため「三溪園美術品等の収集方針」および「三溪園美術品等収集に関する要綱」に基づき、対象物件が出た場合には専門分野の有識者で組織する収集委員会を開催し、その収集価値について審議します。

#### (2) 所蔵品の整備等

##### (ア) 三溪記念館および収蔵庫の整備

収蔵する美術品等を良好に保存するため、収蔵庫および記念館の環境調査および除塵防霉施工を行います。

##### (イ) 所蔵品の整理

未整理資料類のクリーニングおよび整理、リストを作成します。

##### (ウ) 所蔵品の修理

所蔵する美術工芸品のうち経年等により劣化したもの、または近年受贈したものの汚れや破れ、欠失などがあり、そのままでは展示に耐えられないもの等を必要に応じて修理します。

#### (3) 旧矢筈原家住宅（合掌造）の民俗資料調査および整理

昭和35年の旧矢筈原家住宅の移築に際し飛騨地方から集められた同住宅内にある1,000点余の民俗資料の再調査および再整理を外部専門家の指導・助言のもとに行います。

(昨年度までに作成したデータベースを適宜修正します。)

#### (4) 三溪記念館空調機器の保守

記念館の文化財保存上必須となる、冷温水発生機の更新および収蔵庫系統熱源切り離し新設の工事を行います。その他、経年劣化による更新が必要な部分の補修を適宜行います。

#### (5) 三溪記念館での展覧会の開催

##### (ア) 常設展（9回開催）

創設者原三溪に関する資料、三溪自筆の書画、ゆかりの作家作品や美術工芸品、臨春閣・月華殿障壁画など、所蔵する作品の中から季節ごとにテーマを決め、常設展示します。

##### (イ) 開園110周年記念企画展 エバレット・ブラウン湿板光画展—花と建物（仮称）

12月20日（火）～3月12日（日）

—昨年度、好評を博した古い撮影法によるエバレット・ブラウン氏の写真展。今回は、梶井宮御流家元の生け花を園内の古建築に飾りながら、三溪園の建造物に焦点をあてた作品を紹介予定。

##### (ウ) フォトコンテスト入賞作品展 10月1日（土）～12月13日（火）

フォトコンテストに応募された中から、三溪園の魅力を伝える優秀作品を選び展示します。

## (6) 所蔵品の貸出

他館開催の展覧会に所蔵品の貸出を行います。

貸出予定(平成28年3月1日現在)

「安田靉彦展」 3月23日(水)～5月15日((日)) 東京国立近代美術館

## 4 ボランティア活動の整備・充実

横浜市との協約により設定した設定値をめざし、ボランティアの活躍の場を提供し、さらなる充実を図ります。とくに今後需要の高まる英語でのガイドサービスの充実を図ります。

ボランティア登録者： 203名(平成28年3月1日現在)

(内訳) ガイド・インフォメーション127名、合掌造り管理運営40名、庭園保守管理78名

(※重複登録あり)

## 5 地域や他機関との連携や市民協働による事業、学校利用受け入れの推進

地域や他機関、市民、学校との相互協力、連携、協働により、本園単独では難しい新たな客層の取り込みや施設の整備、イメージや魅力の創出をねらいます。

### (1) 地域、市民との連携、協働

本牧桜まつり(本牧地域)	3月～4月
本牧かぼちゃまつり(本牧地域)	10月
中区えほんフェスティバル(中区)	7月～8月
横浜と原三溪クイズラリー(原三溪市民研究会)	5月

### (2) 他機関との連携

北欧美術展—Contemporary Art from Sweden II (EAJAS)	5月
My茶碗で、Myお茶会(横浜市陶芸センター)	7月
横浜ひなめぐり(横浜人形の家、根岸なつかし公園旧柳下邸)	平成29年2月～3月

### (3) 行政との連携

吉宗將軍就任300周年キャンペーン(和歌山市)	4月～5月
IKEA港北との提携事業(横浜市温暖化対策本部)	5月
夏休み子どもアドベンチャー(横浜市教育委員会)	8月
横浜音まつり(横浜市文化観光局)	9月
クラシック横浜(横浜市文化観光局)	11月～12月
フォト・ヨコハマ(横浜市文化観光局)	平成29年1月～3月

### (4) 学校との連携、利用受け入れ

庭園管理作業(植栽の剪定や下刈り作業、竹垣の修理など)の一部を造園系専門学校や大学などの実技研修の場として提供します。

市内小・中学校が実施している校外授業等の受け入れ(入園料を免除)

## 6 歴史的建造物の貸出

重要文化財を含む歴史的建造物9棟を茶会や句会、演奏会などの公益的・文化的な目的の使用に貸し出します。また、横浜市のMICE推進に協力し、定款に掲げる使命に反しない範囲で、アフターコンベンションプログラムの会場としての利用も図ります。

※鶴翔閣は主として収益目的での利用を対象としますが、公益目的にも優先的に貸し出しを行っています。

## 7 営業および広報活動

施設単独のほか、他機関との共同・連携により、施設の情報や魅力の発信・提供の機会を作り、営業・広報を行い、施設の認知度を高め集客に努めます。

また、来園者の利便性と満足度の向上を図ります。

## (1) 営業活動

### (ア) 外国人観光客の誘致に向けた取り組み【新規】

増加している外国人のさらなる集客に向け、体験メニュー等を掲載・紹介するセールスシート（施設利用ガイド）を作成し、営業活動に活用します。

### (イ) 旅行会社への営業

送客頻度の高い日帰り圏内を中心に、北海道新幹線・北陸新幹線や上野東京ラインの開通で旅行意欲が高まっている方面や、世界遺産・富岡製糸場と本園のつながりを生かした営業にも注力します。また、より効果的な送客をねらうため他の観光施設との合同営業や、旅行会社を招聘した商談会等にも積極的に参加します。

### (ウ) 観光・MICE企画業者への営業

企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行・Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)といった大きな集客が見込まれる機会に向けて営業を行います。

## (2) 広報活動

### (ア) 市営バスの「三溪園ライン（仮称）」と連携したプロモーションの実施

三溪園へのアクセスが簡便となる「三溪園ライン（仮称）」の運行を広く周知するとともに、その利用活性化のための事業を企画・検討します。

### (イ) ホームページ、SNSの活用【拡充】

現状のホームページのリニューアルやFacebook等のSNS導入など、より効果的な施設情報の発信を検討します。

また、外部団体や機関の情報サイトを活用した情報発信も行います。

### (ウ) メディア等への積極的な情報発信

主なイベントの開催にあわせ、市内外のメディアに対し、積極的に情報を提供し、露出の機会拡大を図ります。

### (エ) 広告掲載、他機関事業協賛

ガイドブックや航空会社機内誌等、特に有効と考えられる有料広告への出稿や、持ち込み企画など他機関事業とのタイアップ等を積極的に行い、話題性、露出の機会拡大を目指します。

### (オ) リーフレット、ポスター、チラシの作成と配布・掲出

5言語(日本語・英語・簡体字・繁体字・韓国語)での施設案内や、年間行事案内(花と行事)のリーフレット、主要なイベントや花の開花時期にあわせ、ポスター・チラシを作成し、配布・掲出を行います。また、前年度増刷した『四季の三溪園』を紹介する4連イメージポスターを海外キャンペーン等の際に提供します。

### (カ) 入園割引券作成・配布

市内施設や誘客・集客キャンペーン、観光フェアなどで入園券割引券を配布することにより、来園の効果的な動機づけをねらいます。

### (キ) 招待券、ノベルティグッズ、PR素材の開発・配布

国内外の重要人物の三溪園視察時や営業先への訪問時、取材対応時、プレゼント企画などに進呈・提供することにより、園への送客促進やイメージアップを狙います。

### (ク) 客船寄港時の乗船客・乗組員の誘致

クルーズ客船の横浜入港時に、三溪園への来園・利用を促進するとともに、日本文化を感じさせる三溪園らしい記念品の開発・販売に着手します。

## 8 利便性と満足度の向上

来園者の利便性と満足度向上に向けた環境整備を行います。

### (1) Wi-FiやQRコードによる多言語情報の利用促進【拡充】

園内でインターネット等の利用が無償で受けられるWi-Fi（平成26年度に整備）やQRコードによるスマートフォン等での多言語情報の閲覧ができる（平成27年度に整備）環境を広く周知し、利用の促進と充実を図ります。

### (2) 「三溪園ライン（仮称）」の運行にあたり、バス停設置等の周知と利用環境の整備を行います。

### (3) ボランティアの協力による園内の環境整備【拡充】

増加傾向にある外国人入園者へのサービス向上のため、英語等外国語でのガイド・会話の能力のあるボランティアの登録を促進します。

### (4) 利用設備・備品

老朽化したトイレの順次更新や車椅子、雨傘・日傘の無料貸与を継続実施します。

### (5) アンケート調査【拡充】

主要な催し（年8回程度）について、開催時にアンケート調査を行い、来園者の属性やニーズを探るとともに利用者の観点に立ったイベントの再検討や新たな企画の参考として役立ちます。また、外国人入園者に対するアンケート調査の導入（英語アンケート等）を検討し着手します。

## 9 寄付受け入れのシステム構築検討【拡充（※一部新規）】

三溪園の管理運営の資金獲得のため、寄付の受け入れ体制を検討し構築します。

## 10 次世代育成および学校への利用促進の働きかけ

シニア層に偏っている利用者層の拡大と、将来に向けた利用者の確保を目的として、継続して若い世代への来園意欲の動機付けやきっかけを作るとともに、教育機関へ利用促進を目的とした働きかけを行います。

### (1) 若年層への働きかけ

季節を通じて開催する各催しの関連事業に、若い世代も楽しめる内容を盛り込み、参加を促し来園の動機づけを行います。

また、文化観光局が実施するコンテンツツーリズムにも引き続き連携します。

### (2) 教育機関への利用促進の働きかけ

学校教育での利用促進を図るため、教職員の施設認知（校長会・副校長会への情報提供等）を高め、利用環境や人的体制などの整備を検討します。

また、夏休み期間に市内小学生の入園料を無料とする「こどもパスポート」についても継続実施し、市内小学校を通じて配布します。

そして職業体験やインターンシップ、博物館実習等の受入を行い、研修の場を提供します。

## 11 入園料、使用料等料金の見直し

平成29年4月の消費税率改正に合わせた入園料改定のための諸準備を行います。

また、園内の3店ある茶店の賃料を、4月から改定します。

## 12 その他

経費の節減および収入源の創出のため、外部の要望を柔軟に取り込みながら余剰施設の利用促進や新たな催事の開拓にも取り組み、公益性を確保しながら収益性を目指します。

## 収益目的事業

### 1 三溪園駐車場の管理運営

#### (1) 乗用車

2時間まで500円、以降30分ごとに100円、当日1000円を上限額とします。

#### (2) バス

1台1回につき1,000円

### 2 抹茶の提供

三溪記念館ロビーに設置している茶席 望塔亭で、裏千家、表千家、江戸千家の三流派の協力により、菓子付きの抹茶を有料で提供します。

1服500円 (※利用者の要望により、点前のデモンストレーションも行います。)

### 3 記念品・土産品などの販売

三溪記念館エントランスに設置しているミュージアムショップで、次の品目を販売します。  
絵はがき、写真集、落雁・煎餅などの菓子類、織物・陶磁器製品、三溪園に関する書籍等

### 4 茶店(売店)の賃貸

来園者の利便に供するため、園内3店(待春軒、三溪園茶寮、雁ヶ音金茶屋)の茶店を賃貸します。(4月から料金改定を実施。)

### 5 庭園および歴史的建造物の貸出

横浜市指定有形文化財 鶴翔閣については、園内の他の貸出建造物とは異なり、利用目的の範囲を広く設定し、公益目的以外の展示会や披露宴、撮影会、販売会、プレゼンテーションなどの利用に供します。また、庭園についても一般来園者の観覧に支障の無い範囲で、ドラマやCF、ウェディングの撮影等に貸し出します。

### 6 天候に左右されない施策の検討【新規】

観桜の夕べ、観月会など四季の移ろいを楽しむ行事が大きな集客につながる三溪園では、これまで天候の影響により入園者数が大きく左右されてきました。

今年度は、鶴翔閣等の平日利用の促進策として、ビジネスユース(会議や展示会等)の提案、用途別・曜日別の料金設定や、集客が見込める著名人による催し等への協力や連携などを天候に左右されない施策として検討し、着手します。